

モニタリング結果報告書

施設 厚木精華園
 指定管理者 社会福祉法人かながわ共同会
 施設所管課 障害サービス課

(平成23年度 上半期)

管理運営状況総括

今期の指定管理者の管理運営状況（1～9の結果を踏まえ、判定してください）

B

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考（確認事項等）
4月	5月11日		月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した
5月	6月10日		月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した
6月	7月8日		月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した
7月	8月9日		月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した
8月	9月9日		月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した
9月	10月7日		月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

<提案内容の概要>

- 中高齢知的障害者に対する医療的ケアの充実
- 地域生活への移行の推進

<実施状況>

- 高齢化による身体諸機能の低下（特に嚥下、身体動作等）がみられ、医療的ケアの必要性が継続している。PTの導入（毎週1日）により、廃用性症候群の予防に努めた。転倒等のリスク管理については、転倒防止のポスターを作製し、利用者および職員への注意喚起を促すと共に、全体連絡表に転倒事故の情報を記載し、周知を図った。医療的ケアの職員研修に関しては、重症心身障害児施設への職員研修を昨年度と同様3名行うと共に、園内の医療的ケア研修制度においては、全体講義を6回、個別手技研修を約180回行い職員のスキルアップを図った。さらに今年度になり定まった国の「介護職員等による喀痰吸引等について」の制度の情報確認に努め、国の制度に対応できるよう園内での情報周知を図った。外部向けの研修会として厚木精華

園が主催して行っている「高齢者支援セミナー」では、29事業所、延べ141名の支援員が参加し、高齢知的障害者への支援に関して研修を行いました厚木精華園が実際に取組んでいる支援方法について情報発信を行った。

2. 新規ケアホーム（第12ホーム）の建設に向け、土地の選定、家主との相談、自治会への挨拶回り等準備を行った。利用者に対しては、地域生活移行への促進を図るため、園内での地域生活移行対象者の検討を行うとともに、ケアホームでの宿泊体験利用を定期的に行った。（延べ23名が利用）

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	727,447 (705,160)	249,509 (251,620)	456,003 (432,061)	21,935 (21,479)	722,870 (684,313)	4,577 (20,847)
上(下)半 期予算額	363,723	124,754	228,001	10,967	361,435	2,288
4月	60,067	18,402	38,575	3,089	46,038	14,028
5月	62,614	18,402	38,998	5,213	51,491	11,122
6月	75,524	32,106	41,890	1,527	94,158	△18,634
7月	58,997	18,402	38,927	1,668	50,431	8,566
8月	61,194	18,402	41,027	1,765	47,129	14,065
9月	61,163	18,402	40,804	1,957	55,087	6,075
今年度 半期計	379,561	124,116	240,223	15,222	344,337	35,224
前年度 同期計	361,411	125,172	222,145	14,094	319,438	41,973

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
- ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

- ① 年間予算額における収支差額が4,577千円となっているのは、公用車の入れ替えを年度内の収入状況により考えていたので、予備費として計上していたため。
- ② 今年度半期計の収支差額が支出合計の約1割以上プラスとなった理由は、施設の利用率が昨年度より1.4%上がり（今年度の目標利用者数は0.5%下回ったが）、利用料収入が増加したこと、常勤看護師1名が7月より産休に入り、欠員補充に努めたが、非常勤看護師の補充のみしかできず、人件費支出が減ったため。なお、協定による人員配置については満たされている。
- ③ 該当なし

<参考>

本施設について県が支出した(する)修繕費等
⇒該当なし

管理施設の修繕において、計画修繕工事・各所営繕工事等に係る費用については、県が負担することと基本協定で定めている。施設の状況をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。
- 2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期		
下半期		
総額		

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

⇒該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
4月	100人	103人	△2.9%
5月	100人	96人	4.2%
6月	100人	96人	4.2%
7月	100人	98人	2.0%
8月	100人	98人	2.0%
9月	97人	98人	△1.0%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	600人	597人	589人	△0.5%	1.4%
今年度下半期計	人	人	人	%	%

利用状況に関する意見等

①今年度上（下）半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。（特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。）
 ②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。
 なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

- ①該当なし
- ②目標利用者数に対しマイナス3名となったが、この3名は9月の末に立て続けに亡くなられたケースである。

5 苦情・要望等の状況

⇒該当なし

受付件数（うち施設所管課受付分）

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
月	()	()	()	()	()	()
月	()	()	()	()	()	()
月	()	()	()	()	()	()
月	()	()	()	()	()	()
月	()	()	()	()	()	()
月	()	()	()	()	()	()
合計	()	()	()	()	()	()

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

⇒該当なし

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
	・	
その他	・	
	・	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

⇒該当なし

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

⇒該当なし

（ 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 ）

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			
月 日			

9 上（下）半期の所見等

（ 1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 ）

指定管理者	<ul style="list-style-type: none">・ 今年度上半期は、掲げていた目標が概ね達成でき、安定した事業を実施することができた。高齢知的障害者の健康維持のため、医療的ケアの職員スキル向上を図ると共に、利用者の積極的な地域移行の検討を行った。・ 5月に1名、9月に3名の方が入院中に亡くなられたが、ご家族からは亡くなられた後の対応も含めて、感謝の意を表される言葉を頂き、今後も中高齢の知的障害者支援をさらに充実させていくことへの励みになった。
施設所管課	<ul style="list-style-type: none">・ 利用者の高齢化や身体機能低下に対する取り組みを積極的に行い、大きな事故等もなく安定した事業を実施している。・ 高齢の利用者が多いため体調急変等もあり、また知的障害から自ら体調の変化を訴えることが出来る利用者は大変少ない。しかしそういった中でリスク管理の充実や、他の社会資源と協力体制を築く努力を行っており、評価している。結果的に家族からも納得いただける充実した支援を実現している。